



あゆみ

青梅市立河辺小学校
令和4年度11月号
青梅市立河辺小学校

学校便り No. 655
令和4年11月1日
校長 関谷 望

実りの秋

校長 関谷 望

運動会の頃はまだまだ暑い日も多かったのですが、急速に秋が深まり、肌寒い日も多くなりました。一般に、秋の過ごしやすい気候を受けて「〇〇の秋」などと言われます。皆様にとっての秋はどのようなものとなっていますか。本校でも爽やかな秋の気候を期待して、10～11月にはたくさんの体験学習を計画・実施しています。

10月6日には5年生が「青梅学」の一環として、青梅市成木の森に出かけ、林業体験（森の体験学習）を行いました。森を守る活動をしている方々に事前学習をしていただいた上で、当日は林業家など森で活動する方々と実際にふれ合いながら、木を切り倒したり、丸太を切る体験をしたりしました。とても貴重な体験となりました。

また同日には、今年度の「オリパラスポーツ教室」の一環として、都の「子供を笑顔にするプロジェクト」を活用し、東京オリンピックで大活躍して銀メダルを獲得した女子バスケットボールチーム 三好南穂選手にご来校いただきました。6年生を対象に、体験教室をしていただいたり実際の銀メダルにふれさせていただいたりすることができました。

10月17日には「芸術鑑賞教室」として文化庁事業を活用し、「シエナ・ウインド・オーケストラ」というオーケストラ乐团にご来校いただき、1～3年生・4～6年生の2部制で各90分のコンサートを実施していただきました。「少し長いかな」と特に下学年は心配しましたが、楽しい構成と生演奏の大迫力に夢中になって聴き入っていました。

10月21日には、「オリパラスポーツ教室」として、プロなわとびプレーヤーの生山ヒジキ先生をお迎えして、3・4年生を対象になわとび教室を実施していただきました。素晴らしい指導で、これまでできなかった技ができるようになる子が続出しました。

この他にも、動物飼育推進校の取組として、獣医の石川幸子先生をお迎えして、河辺小で飼育しているうさぎを活用した「命の授業」を実施していただいたり（1・2年生）、読書活動推進校の取組として、講談師 菊池玉雲先生をお迎えしての特別授業（4年生）や6年生代表児童が中央図書館1日館長を行ったりと多くの体験学習を実施しました。

河辺小の子供たちは、体験学習の場面でも、きちんとあいさつができ、しっかり話が聞け、感心することが多くあります。話を聞くときに静かに聞くことはもちろんですが、頷いたり反応したりしながら聞ける子が多く、ゲストティーチャーの方からも「気持ちよく話しやすい」と言っていただけることが多くあります。

11月には、コロナ禍で2年間開催を見送ってきた音楽会を予定しています。感染状況の波があっても実施可能なものにするために、4部制・歌唱せず器楽演奏のみの発表と、規模を縮小しての開催とさせていただきます。子供たちは日々、「よりより演奏に」と一生懸命練習に取り組んでいます。

またそれ以外にも、遠足や社会科見学、その他体験活動も予定されています。

「スポーツの秋」「芸術の秋」「読書の秋」などが同時にやってきている河辺小学校ですが、一つ一つの行事や体験が、子供たちにとって有意義なものになるよう、しっかりと価値づけを行いながら、「実りの秋」としていきたいと思っております。

ご理解・ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。